

(議案第1号関係)

令和2年度

# 事業報告書

令和 2年 4月 1日から

令和 3年 3月31日まで

## 令和2年度 事業総括

令和2年度の本会事業ですが、牛や馬などの予防注射事業(発生予防事業)は、計画頭数 931,100 頭に対し、実績頭数は 914,226 頭で計画比 98.2%と、ほぼ計画どおりの実績を確保することができました。

国の補助事業につきましては、ヨーネ病の自主的な検査やとう汰、牛ウイルス性下痢・粘膜病(BVD)の持続感染牛の自主的なとう汰などへの助成事業である「家畜生産農場衛生対策事業」につきましては、関係機関のご協力により、円滑な助成を行うことができました。

また、死亡牛のBSE検査、処理費などへの助成事業である「死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業」についても、関係者の皆様のご尽力により、大きな混乱もなく事業を推進することができました。

また、口蹄疫、豚コレラ等の海外悪性伝染病の方が一の発生に備える「家畜防疫互助基金支援事業」につきましては、令和2年度末で3年間の事業期間が終了し、令和3年度から新たな事業期間となります。道内では、令和2年度末現在、3,510 戸の牛飼養農場、68 戸の豚飼養農場が加入しています。

その他、公益社団法人中央畜産会等の助成事業なども含めまして、令和2年度の協会事業は、新型コロナウイルス感染症渦のなか、各地域の自衛防疫組合や関係機関・団体の皆様のご理解とご協力のもとに円滑に推進できましたことをご報告いたします。

# 第 1 一 般 会 務

## 1. 会 員

(1) 正会員 27団体

ア. 寄託会員 19団体

北海道。ホクレン農業協同組合連合会。北海道農業共済組合連合会。一般社団法人ジェネテイクス北海道。十勝管内家畜自衛防疫推進協議会。空知地区家畜自衛防疫推進協議会。上川地区家畜自衛防疫連絡協議会。石狩地区家畜自衛防疫推進協議会。釧路地区家畜自衛防疫連絡協議会。日高家畜衛生防疫推進協議会。後志家畜自衛防疫推進協議会。留萌地区家畜畜産物自衛防疫推進協議会。根室家畜伝染病自衛防疫推進協議会。胆振家畜自衛防疫推進協議会。オホーツク家畜自衛防疫推進協議会。公益社団法人北海道獣医師会。檜山地区家畜自衛防疫推進協議会。渡島地区家畜伝染病自衛防疫推進協議会。宗谷地区家畜自衛防疫推進協議会。

イ. 会費会員 8団体

北海道農業協同組合中央会。一般社団法人北海道酪農畜産協会。北海道ホルスタイン農業協同組合。北海道町村会。北海道乳質改善協議会。一般社団法人北海道酪農協会。北海道養鶏会議。一般社団法人ばんえい競馬馬主協会。

(2) 賛助会員 9団体

北海道信用農業協同組合連合会。雪印メグミルク株式会社。日高軽種馬農業協同組合。株式会社明治。よつ葉乳業株式会社。北海道動物器薬協会。北海道乳業株式会社。胆振軽種馬農業協同組合。一般社団法人北海道養豚生産者協会。

## 2. 役員の変更

第48回通常総会で役員任期満了に伴う役員選任並びに第2回理事会で会長等の選定が行われ、次の方々が就任された(敬称略)。

役職名	氏名	所属団体	備考
会長	岡田 恒博	北海道農業共済組合連合会	
副会長	高橋 徹	(公社)北海道獣医師会	
副会長	丹羽 篤司	ホクレン農業協同組合連合会	
専務理事	渡邊 斉	(公社)北海道家畜畜産物衛生指導協会	
理事	酒井 利夫	北海道養鶏会議	
理事	伊藤 榮一	石狩地区家畜自衛防疫推進協議会	
理事	井澤 春雄	上川地区家畜自衛防疫連絡協議会	
理事	駒澤 弘義	日高家畜衛生防疫推進協議会	
理事	齊藤 哲	十勝管内家畜自衛防疫推進協議会	
代表監事	北村 健	(一社)北海道酪農畜産協会	
監事	熊谷 知之	北海道農業協同組合中央会	

また、第1回臨時総会及び第4回理事会で役員辞任に伴う補欠選任が行われ、次の方が就任された(敬称略)。

役職名	氏名	所属団体	備考
代表監事	北村 健	(一社)北海道酪農畜産協会	辞任
代表監事	秋元 勝彦	(一社)北海道酪農畜産協会	就任

### 3. 総会の開催

第48回通常総会 令和2年6月19日 書面開催

議案及び決議事項

- (1) 令和元年度事業報告及び決算の承認について
- (2) 令和2年度会費の賦課額と徴収方法の決定について
- (3) 令和2年度役員報酬総額の承認について
- (4) 令和2年度借入金の最高限度額の承認について
- (5) 役員の変更について
- (6) 令和2年度事業計画、収支予算の報告について

第1回臨時総会 令和2年7月27日 書面開催

議案及び決議事項

- (1) 監事の補欠選任について

### 4. 理事会の開催

第1回理事会 令和2年5月28日 書面開催

- (1) 第48回通常総会の開催について
- (2) 第48回通常総会提案事項について

第2回理事会 令和2年6月19日 北海道獣医師会館

- (1) 会長、副会長、専務理事、代表監事の選定
- (2) 令和2年度役員報酬の執行について
- (3) 令和元年度事業報告書提出について
- (4) 業務執行状況の報告について

第3回理事会 令和2年7月10日 書面開催

- (1) 令和2年度第1回臨時総会の開催について
- (2) 監事の補欠選任について

第4回理事会 令和2年8月5日 書面開催

- (1) 代表監事の選任について

第5回理事会 令和2年12月11日 北海道獣医師会館

(1) 報告事項

- ア 上半期財務状況について
- イ 上半期各事業の進捗状況について
- ウ 寄託金の運用状況について
- エ 職務執行状況について

第6回理事会 令和3年3月18日 北海道獣医師会館

- (1) 令和3年度事業計画案について
- (2) 令和3年度発生予防事業対価案について
- (3) 家畜防疫互助基金支援事業に係る事務手数料について
- (4) 令和3年度収支予算案について
- (5) 第49回通常総会等の開催案について

5. 寄 託 金

金 66,800,000 円 (334口) 一口 200,000 円

寄 託 会 員 名	口 数	寄 託 額
北 海 道	125 口	25,000 千円
ホクレン農業協同組合連合会	150	30,000
北海道農業共済組合連合会	25	5,000
一般社団法人ジェネティクス北海道	10	2,000
十勝管内家畜自衛防疫推進協議会	1	200
空知地区家畜自衛防疫推進協議会	1	200
上川地区家畜自衛防疫連絡協議会	1	200
石狩地区家畜自衛防疫推進協議会	1	200
釧路地区家畜自衛防疫連絡協議会	1	200
日高家畜衛生防疫推進協議会	1	200
後志家畜自衛防疫推進協議会	1	200
留萌地区家畜畜産物自衛防疫推進協議会	1	200
根室家畜伝染病自衛防疫推進協議会	1	200
胆振家畜自衛防疫推進協議会	1	200
オホーツク家畜自衛防疫推進協議会	1	200
公益社団法人北海道獣医師会	10	2,000
檜山地区家畜自衛防疫推進協議会	1	200
渡島地区家畜伝染病自衛防疫推進協議会	1	200
宗谷地区家畜自衛防疫推進協議会	1	200
計 (19団体)	334	66,800

6. 会 費

金 570,000 円

会 費 会 員	会 費 額	賛 助 会 員	会 費 額
北海道農業協同組合中央会	千円 50	北海道信用農業協同組合連合会	千円 100
一般社団法人北海道酪農畜産協会	60	雪印メグミルク株式会社	30
北海道ホルスタイン農業協同組合	50	日高軽種馬農業協同組合	50
北海道町村会	20	株式会社 明治	30
北海道乳質改善協議会	20	よつ葉乳業株式会社	30
一般社団法人北海道酪農協会	10	北海道動物器薬協会	30
北海道養鶏会議	10	北海道乳業株式会社	20
一般社団法人ばんえい競馬馬主協会	20	胆振軽種馬農業協同組合	20
		一般社団法人北海道養豚生産者協会	20
計 (8団体)	240	計 (9団体)	330

## 第 2 事業実施成績

### 1. 発生予防事業(公益目的事業、収益事業等)

次頁のとおり下記事業による予防接種を実施。

#### (1) 補助事業発生予防事業(農林水産省 家畜生産農場衛生対策事業:公益目的事業)

ア. アカバネ病

#### (2) 特定疾病発生予防事業(北海道家畜畜産物衛生指導協会事業:公益目的事業)

ア. 牛5種混合(生)(牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢粘膜病・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス・牛アデノ7型ウイルス)

イ. 牛5種混合(不)(牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢粘膜病2価・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス)

ウ. 牛6種混合(生)(牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢粘膜病2価・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス・牛アデノ7型ウイルス)

エ. 牛6種混合(牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢粘膜病2価・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス・牛アデノ7型ウイルス)

オ. 牛嫌気性菌5種と上記のアからエのいずれかとの同時接種

カ. 牛嫌気性菌5種

キ. 牛下痢5種混合(不)

ク. ニューカッスル病(生)

ケ. ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎混合

コ. 馬3種混合(日本脳炎、破傷風、馬インフルエンザ)

サ. 日本脳炎(馬)

シ. 馬インフルエンザ

ス. 破傷風(馬)

セ. 馬鼻肺炎(生、不)

ソ. 豚丹毒(生、不)

タ. 豚流行性下痢(PED)

チ. 豚伝染性胃腸炎(TGE)・豚流行性下痢混合

#### (3) 育成馬等予防接種推進事業(中央畜産会助成事業:収益事業等)

ア. 馬3種混合(日本脳炎、破傷風、馬インフルエンザ)

イ. 日本脳炎(馬)

ウ. 馬インフルエンザ(対象:競走馬)

#### (4) 馬インフルエンザ等自衛防疫推進事業(中央畜産会助成事業:収益事業等)

ア. 馬インフルエンザ(対象:農用馬、乗用馬等)

イ. 馬鼻肺炎(生)(対象:妊娠馬)

## 令和2年度 発生子防事業実績集計表

(単位:頭、羽)

疾 病 名	計 画 (A)	実 績 (B)	計 画 比 (B/A)
豚 丹 毒	117,500	132,938	113.1
豚伝染性胃腸炎(TGE)・ 豚流行性下痢(PED)混合	0	0	
ニューカッスル病	14,000	8,000	57.1
牛伝染性鼻気管炎	595,000	570,811	95.9
牛嫌気性菌5種	101,500	98,342	96.9
アカバネ病	6,300	4,348	69.0
牛下痢5種混合	37,000	38,702	104.6
馬3種混合	26,400	27,716	105.0
日本脳炎(馬)	4,400	4,402	100.0
馬インフルエンザ	12,800	12,456	97.3
馬鼻肺炎(生)	16,200	16,490	101.8
馬鼻肺炎(不)	0	21	
馬破傷風	0	0	
合 計	931,100	914,226	98.2

(地区別内訳は別紙1)



## 2. 令和2年度 検査推進事業（農林水産省補助事業：公益目的事業）

### (1) 家畜生産農場衛生対策事業

#### ア. 疾病清浄化支援対策

##### (ア) 牛疾病防疫支援対策

###### ○ ヨーネ病自主検査

移動牛等を対象に、自主検査(血清反応・培養検査)を関係機関の協力により実施。

・自主検査 乳用牛 1,848頭 肉用牛 21,831頭 合計 23,679頭

(内訳は表①のとおり)

###### ○ ヨーネ病発生農場における自主とう汰

ヨーネ病発生農場飼養牛の自主的などう汰を関係機関の協力により実施。

乳用牛 106頭 肉用牛 37頭 合計 143頭 (内訳は表①のとおり)

###### ○ 牛白血病の検査、自主とう汰

牛白血病発生農場や公共牧場の検査及びハイリスク牛の自主とう汰や吸血昆虫駆除対策を関係機関の協力により実施。

・発生農場の検査 12農場 333頭

・ハイリスク牛の自主とう汰 6農場 8頭

・公共牧場の検査 1牧場 120頭

・公共牧場の吸血昆虫対策 9牧場

###### ○ 牛ウイルス性下痢・粘膜病(BVD-MD)対策

BVD-MD発生農場等の検査、持続感染牛の自主淘汰などを関係機関の協力により実施。

・発生農場の検査 15農場 152頭

・持続感染牛の自主淘汰 57農場 134頭 (内訳は表②のとおり)

##### (イ) 豚疾病防疫支援対策

種豚生産農場のオーエスキー病抗体検査、証明書の発行などを関係機関の協力により実施。

・抗体検査、証明書の発行 3農場 35頭

##### (ウ) 地域慢性疾病清浄化支援対策

牛マイコプラズマ乳房炎の清浄化のため、関係者が一体となった取り組みなどに助成を実施。

・実施団体 JAオホーツクはまなす

・検討会の開催 4回開催

・農場の検査 104農場 バルク乳 1,791件、個乳 7,192件、同定検査 35件

・感染牛の自主とう汰 4農場 7頭

##### イ. 農場飼養衛生管理強化対策

農場の飼養衛生管理向上のため、農場が支払った獣医師指導経費に助成。

・指導実施農場 261農場(牛飼養農場)

##### ウ. 疾病発生・流行防止支援対策

・アカバネ病ワクチン接種 4,348頭 (詳細は、発生予防事業成績(別紙1)のとおり)

(表①)

## ヨ－ネ病自主検査並びに自主とう汰実施頭数(令和2年度)

事業 支部	自主検査頭数									自主とう汰頭数				備考	
	血清				細菌培養				合計		戸数	乳用牛 頭数	肉用牛 頭数		頭数 合計
	乳用牛		肉用牛		乳用牛		肉用牛		戸数	頭数					
	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数							
石狩			155	390					155	390	1	1		1	
道南(渡島)	3	116	304	779					307	895	2	1	1	2	
道南(桧山)			332	660					332	660				0	
後志			114	273					114	273				0	
空知			274	875					274	875				0	
上川	37	340	354	930					391	1,270	2	4		4	
留萌			107	267					107	267	2	3	1	4	
宗谷	4	5	95	271					99	276	4	3	8	11	
網走	11	76	902	2,253					913	2,329	2	17	1	18	
胆振	8	28	823	2,093			18	80	849	2,201	1		1	1	
日高	10	91	1,074	2,609					1,084	2,700	1		3	3	
十勝	24	211	2,047	7,158					2,071	7,369	26	48	16	64	
釧路	56	113	362	2,511					418	2,624	3	4	1	5	
根室	160	868	248	682					408	1,550	12	25	5	30	
合計	313	1,848	7,191	21,751	0	0	18	80	7,522	23,679	56	106	37	143	

注 1 自主検査の戸数は延べ戸数である。

(表②)

## 牛ウイルス性下痢・粘膜病検査、予防接種、自主とう汰実施頭数(令和2年度)

事業 支部	検査頭数						予防接種頭数				自主とう汰頭数				備考
	血清				合計		戸数	乳用牛 頭数	肉用牛 頭数	頭数 合計	戸数	乳用牛 頭数	肉用牛 頭数	頭数 合計	
	乳用牛		肉用牛		戸数	頭数									
	戸数	頭数	戸数	頭数											
石狩															
道南(渡島)										3	10	4	14		
道南(桧山)										1	1		1		
後志															
空知	1	75			1	75				1	3	1	4		
上川	13	64			13	64				4	4		4		
留萌										9	15		15		
宗谷										2	3		3		
網走										11	23	12	35		
胆振															
日高	1	13			1	13				1		1	1		
十勝							1	35		35	16	21	16	37	
釧路										9	19	1	20		
根室															
合計	15	152			15	152	1	35		35	57	99	35	134	

## (2) 死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業(牛疾病検査円滑化推進対策事業)

## ア. 事業実施頭数

事業対象死亡牛頭数	左のうち		備考
	BSE検査頭数	検査除外頭数	
10,799 頭	10,706 頭	93頭	全頭陰性

## イ. 死亡牛適正処理推進協議会の開催

開催時期	開催場所	協議内容	参加人員	備考
		新型コロナウイルス感染症対策のため、未開催		

### 3. 令和2年度 中央畜産会等助成事業（収益事業等）

#### (1) 馬飼養衛生管理特別対策事業

ア. 馬飼養管理技術講習会、馬臨床に係る現地検討会の開催

馬関係獣医師の技術並びに馬飼養者の自衛防疫意識の向上を図るため講習会、検討会を開催。

開催時期	開催場所	講師	講習内容	参加人員
令和3年1月15日	資料配付	JRA馬事部防疫課 倉持 雄太 氏	馬の感染症とその予防	63名
令和3年1月28日	新ひだか町 (WEB配信)	NOSAIみなみ日高支所 家畜高度医療センター 佐藤 正人 氏ほか4名	馬における経皮的超音波による喉頭軟骨及び筋肉の描出方法他	159名

#### イ. 地域馬獣医療実態調査

調査時期	調査地域	調査対象	調査内容
令和2年9～12月	石狩、渡島、檜山 胆振、日高、後志 空知管内	馬飼養農家 203戸 (軽種馬を除く)	衛生管理基準の遵守状況、馬伝染性 疾病発生予防対策のアンケート調査

#### (2) 育成馬等予防接種推進事業

競走馬の馬3種混合(日本脳炎、破傷風、馬インフルエンザ)、日本脳炎、馬インフルエンザ予防接種に助成。

馬3種混合 25,507頭                      日本脳炎 2,604頭                      馬インフルエンザ 10,818頭

#### (3) 馬インフルエンザ等自衛防疫推進事業

ア. 馬鼻肺炎予防接種

妊娠馬の馬鼻肺炎ワクチン接種に助成。 (生) 15,717頭

イ. 馬インフルエンザ予防接種

馬インフルエンザの清浄化の確認と維持を図るため、乗用馬・農用馬等の予防接種に助成。

区分	用途別	実施頭数			合計
		農用馬	乗用馬	その他関連馬	
馬インフルエンザワクチン接種		52	383	65	500

ウ. 地域馬伝染性疾病防疫推進検討会の開催

馬伝染性疾病の防疫強化を図るため、令和2年9月(札幌市)と令和3年2月(書面)に開催。

#### (4) 組織強化対策事業

##### ア 地域自衛防疫活動の強化並びに農場HACCP認証の普及推進(家畜防疫・衛生指導対策事業)

地域における自衛防疫活動の強化を図るため、推進会議の開催、生産者段階での防疫演習の実施、牛マイコプラズマ乳房炎の検査等の助成、牛白血病発生農場の検査、自主とう汰、競馬場在きゅう馬の馬伝染性貧血の抽出検査などに助成。

農場HACCP認証を普及するため、普及推進のための検討会の開催、農場への啓発活動、農場HACCPシステムの構築指導を実施。

項目	内容
地域自衛防疫推進会議	令和2年8月及び令和3年3月に書面開催
生産段階での防疫演習	家畜保健衛生所と連携し、壮瞥町、八雲町、小平町、紋別市、遠軽町で開催（計5回）
牛マイコプラズマ乳房炎対策	十勝管内搾乳農場(1,096農場)の採材費、検査料に助成
牛白血病清浄化支援	せたな町(乳用牛)、当別町(肉用牛)、士別市(乳用牛)の3農場(発生農場)の採材、検査、自主とう汰、吸血昆虫対策に助成
馬伝染性貧血自衛検査	競馬場に在きゅうしている馬の馬伝染性貧血抽出検査への助成(助成頭数:59頭)
農場HACCP普及推進協議会の開催	新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止
農場HACCP地域啓発活動	新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止
農場HACCPシステム構築指導	乳用牛2農場(芽室町、大樹町)、肉用牛3農場(長沼町、安平町、大樹町)、豚3農場(千歳市、平取町、帯広市)、採卵鶏農場(長沼町)で実施

##### イ 畜産経営技術指導事業(畜産関係団体調整機能強化事業)

生産者等からの家畜衛生に関する技術の相談、家畜衛生関連の情報提供依頼に応じるため、窓口を設置し、当協会の獣医師及び農場HACCP審査員資格を有する職員が相談に対応。

また、当協会ホームページに講習会内容などの家畜衛生情報を掲載。

## (5) 家畜防疫互助基金支援事業

令和2年度家畜防疫互助事業生産者積立金額（既存基金）

（単位：戸、頭、円）

区分	家畜の種類		契約戸数	契約頭数	生産者積立金	
乳用牛・肉用牛	1 乳用牛					
		(1) 乳牛(24か月齢以上)	2,634	237,505	55,813,675	
		(2) 乳牛(24か月齢未満)	2,651	155,770	14,798,150	
	2 肉用牛					
		(1) 肉専用種繁殖雌牛(24か月齢以上)	873	35,345	7,952,625	
		(2) 肉専用種繁殖雌牛(24か月齢未満)及び肉専用種肥育牛	879	60,420	6,646,200	
		(3) 肉専用種と乳用種の交雑種肥育牛	178	104,525	10,975,125	
	(4) 乳用種肥育牛	128	125,191	11,893,145		
	計		3,510	718,756	108,078,920	
豚	企業型	(1) 繁殖用種豚(雌)	31	17,930	2,241,250	
		(2) 繁殖用種豚(雄)	31	590	73,750	
		(3) 肥育豚	32	184,760	6,466,600	
		小計		32	203,280	8,781,600
	家族型	(1) 繁殖用種豚(雌)	35	20,985	2,518,200	
		(2) 繁殖用種豚(雄)	35	530	63,600	
		(3) 肥育豚	35	201,017	6,030,510	
		小計		36	222,532	8,612,310
		計		68	425,812	17,393,910
	合計			3,578	1,144,568	125,472,830

&lt;参考&gt;

令和2年度家畜防疫互助事業生産者積立金額（豚追加基金）

（単位：戸、頭、円）

区分	家畜の種類		契約戸数	契約頭数	生産者積立金	
豚	企業型	(1) 繁殖用種豚(雌)	28	16,925	6,346,875	
		(2) 繁殖用種豚(雄)	28	517	193,875	
		(3) 肥育豚	29	175,195	18,395,475	
		小計		29	192,637	24,936,225
	家族型	(1) 繁殖用種豚(雌)	31	20,390	7,340,400	
		(2) 繁殖用種豚(雄)	31	495	178,200	
		(3) 肥育豚	31	195,196	17,567,640	
		小計		32	216,081	25,086,240
		計		61	408,718	50,022,465
	合計			61	408,718	50,022,465

#### 4. 家畜自衛防疫の推進強化を図る事業

##### (1) 広報誌等の発行(自衛防疫強化総合対策事業、家畜衛生対策事業)

発行年月	発行部数	標題	発行者	配布先
令和2年7月	250部	予防注射事業の事務処理要領	道衛指協	支部、各自衛防疫組合
令和2年12月	1,000部	牛の予防注射プログラム	道衛指協	支部、各自衛防疫組合、HP掲載
令和2年12月	1,000部	競走用馬の予防注射プログラム	道衛指協	支部、各自衛防疫組合、HP掲載
令和3年2月	1,000部	流産時の対応マニュアル(増刷)	道衛指協	日高、胆振支部
令和2年12月		協会予防事業のワクチンの種類と一般的な注射プログラム	道衛指協	HP掲載

##### (2) 家畜衛生技術普及講習会(講習会事業)

###### ア. 家畜衛生技術普及講習会(技術者向け)

区分	開催月日	場所	講師	講習内容	参加者
上川支部	令和2年7月17日	旭川市	北海道立総合研究機構 畜産試験場 小原 潤子 氏	初乳給与と子牛の疾病対策、牛白血病に関する最近の知見	35名
本部	令和3年3月1日	札幌市 (WEB開催)	KMバイオロジクス株式会社 津田 知幸 氏 ほか	国内での豚熱発生を踏まえた発生予防対策について ほか	69名
本部	令和3年3月15日	札幌市 (WEB開催)	北海道大学大学院獣医学研究院 迫田 義博 氏 ほか	今シーズンの鳥インフルエンザの情報と侵入防止対策の要点 ほか	262名
合計	3回				366名

###### イ. 家畜衛生技術普及講習会(農家向け)

区分	牛		豚		鶏		馬		放牧衛生		衛生全般		計	
	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員
宗谷	18	171											18	171
網走	1	44											1	44
胆振					1	39					1	36	2	75
十勝	2	22											2	22
合計	21	237	0	0	1	39	0	0	0	0	1	36	23	312

#### 5. 家畜衛生関係団体への協力

鶏病研究会北海道支部、北海道オーエスキー病侵入防止対策協議会、北海道牛削蹄師会、北海道海外悪性伝染病防疫対策協議会(経理担当)の事業推進に協力。